



「電友の会だより」 (空の風通信)

「上毛電鉄友の会」の会報誌

第11号



Joden Supporters Club

赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。84年目を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。上電は、いよいよ設立90周年を迎えました。上電友の会は、次の10年も全力で応援します。

換 友の会第11号発刊にあたって

上毛電鉄沿線の交通利便

上電沿線では、「運賃が高い交通は不便だ」ということをよく耳にする。確かに上電の運賃は、中央前橋から8.3kmの大胡まで440円(JRは10.0kmまで200円)等、近距離利用はJRより割高である。しかし、19.6kmの赤城まで610円、25.4kmの西桐生まで670円と、遠距離通減になるので、通して乗ると割高感は低くなる。また、大胡・粕川・宮城・新里地域、みどり市内等、前橋・桐生両市街を除く沿線域で、誰でも200円または300円でデマンドバスに乗れるので(要予約)、ドアツードアのサービスをむしろ割安で利用できる。駅間が短く終日30分毎に確実に電車が走り、昼間は自転車が持込可能なことも上電の利用しやすさであり、実は県内では利便の高い交通が享受されている地域なのだと考える。車を運転する緊張感なく前橋-桐生間を安心して移動できるので、毎日自家用車に頼っている人にも、改めて上電の利便を認識して乗って頂くことを願って、今号の挨拶としたい。

(上毛電鉄友の会 代表 大島登志彦)

催 秋のイベント 前高OB有志の手で

10月23日、大胡車庫にて秋のイベントが開催されました。このイベントでは毎回Nゲージを出展している前橋高校鉄道研究部が高校総文祭と被ってしまったため出展できず、代替として前高鉄研のOB有志がNゲージを出展しました。今回はNゲージのエンドレス展示だけでなく、8月に東京ビッグサイトで行われた鉄道模型コンテストに出展した上電桐生球場前付近のジオラマモジュールも展示しました。これは桐生球場前駅を中心に、周辺の桜並木やスポーツ施設を再現したものでした。

これからも前高鉄研現役・OB共々、上電イベントへ出展し続けられるよう精進いたします。(小林直樹)

催 けやきウォーク前橋のイベントに初出展

昨年11月12・13日にけやきウォーク前橋で駅弁大会が開催されました。また、駅弁大会と並行して「群馬の鉄道の歴史写真展」並びに鉄道模型展示が行われ、そこに前橋高校鉄道研究部および鉄研OB、前橋ジオラマ部がNゲージ模型を出展しました。

前高鉄研OBブースでは学習院大学に所属するOBが立ち上げた「危機管理地域政策研究会」によるLRTが通る前橋駅前を想像したジオラマが設置されました。隣の写真展では前橋の過去の様子が、そしてこちらでは未来の様子が展示されたことにより、鉄道とともに未来へつなげる時の流れを感じる光景となりました。

前高鉄研ならびに鉄研OBでは、これからも車社会群馬の人々が鉄道により関心を持ってくださるよう工夫してイベントのお手伝いが出来れば、と考えております。(小林直樹)



歩 秋のバスハイキング ひたちへ

「ひたちなか海浜鉄道乗車と車庫見学&日立電鉄廃線ハイク」

関越交通さんの商品にラインナップされた今回のバスツアー。友の会会員ほか常連さん以外に、一般募集の方も迎えて出発しました。

道中、大島代表による解説付きで、まずは、水戸駅前から水浜電気軌道跡を車窓見学。ひたちなか海浜鉄道車庫見学に当たっては吉田社長にもご挨拶をいただきました。新鮮な海の幸をほおぼった後、湊線に乗車。終点の阿字ヶ浦で延伸計画に胸を膨らませました。そして、廃止となった日立電鉄小沢駅跡に移動。バスを降りて常陸岡田駅跡まで歩きました。田畑の中をゆく区間で、農道として使われているのか、レールが車のわだち姿に変えていました。社紋が刻まれた重厚な敷地境界標や鉄橋の橋台といった遺構が確認できました。



廃線跡歩きの前に、BRTとなった久慈浜駅跡にも寄りました。BRTは定時運行を安価に提供する点では、確かに魅力的なのかもしれませんが。某市のように自治体から廃止を逆提案する時代、鉄道存続には何より一人一人の利用が一番。上電沿線住民として、電車を使った生活をいっそう心がけなければと思いました。(太田聡彦)

刊 90年史発刊に向け その②

友の会では、上毛電鉄社史編纂に向けて、群馬県ならびに沿線市町村誌、『上毛新聞』、『鉄道ジャーナル』などから目次の項目立ての作業を完了させました。また、社史編纂の準備のため、今後、『友の会だより』に、トピックスを挙げてコラムを書くこととなりました。

現在、コラムで掲載を考えているトピックスは、本庄延伸計画・赤城観光開発計画・東武鉄道直通運転・竹の花プール・路線バス事業・上毛電鉄の存続問題です。

また、資料調査をしたものの、詳細な情報を得ることができなかったトピックは、前橋空襲時の上毛電鉄の被害・湯の口鱒釣り場・湯の口山荘でした。

もし詳細な資料をお持ちでしたら、情報をご提供くださいますようお願い申し上げます。メールで送付の場合は事務局アドレスへ、また郵送・FAXの場合は、上毛電鉄本社へ送ってください。なお郵送・FAXでの送料は各自負担となりますこと、ご容赦ください。(塩島翔)

賞 前橋市市民活動表彰

当会の6年間の活動記録をまとめた「上毛電鉄友の会の活動について」(『地域交通を考える』8号、一般社団法人 交通環境整備ネットワーク発行)を発表しました。

『地域交通を考える』は東京神田神保町「書泉グランデ」6階鉄道書コーナー又は東京秋葉原「書泉ブックタワー」5階鉄道書コーナーにて1,500円で購入することができます。なお、品切れの際はご容赦ください。

拙稿をもとに、平成28年度前橋市市民活動表彰団体候補にエントリーし、この度、受賞が決定。表彰式は平成29年2月25日、前橋プラザ元氣21中央公民館3階ホール「Mサボふれあい祭り」の開会式内で執り行われ、前橋市長から感謝状と副賞を頂きました。(塩島翔)

演

新春イベント BELL”Zが登場！

昨年 2016 年の秋にスーパーベルズの新曲「MOTOR MAN 上電」がリリースされました。そして今年の 2017 年 1 月 3 日の新春イベントでは大胡電車庫で生ライブを開催することになりました。

新曲リリースから 3 ヶ月で車庫ライブ実現になったことから「鉄(線路)は熱いうちに打て」という感じで興奮さめやらぬ中のライブの流れになりました。

当日は東京方面からも東武鉄道(350 系)+上毛電気鉄道(700 形)の貸切電車も走り、ライブ直前には大胡の車庫内は人でいっぱいでした。

ライブは定番の野月さんと堀込さんによる「MOTER MAN(秋葉原～南浦和)」で始まり、終点の南浦和から中央前橋まで新幹線ワープして「MOTOR MAN 上電」が披露されました。3 曲目の「電車通勤体操」からホリプロマネージャーの南田さんも乱入?し通勤体操をピシッと決めました。

とにかく新曲「MOTOR MAN 上電」が、大胡車庫の中で友の会の皆さんとともに聞けて、感無量でした。

＼そして今年もデハ 101 のビール電車でも乾杯しましょう。／

(平岡隆一)

1 月 3 日に開催された新春イベント、本年は、私、堀込聖美もメンバーの一人として活動しております「SUPER BELL”Z」のライブ&トークステージが行われました。

新春の大胡車庫、今年はお天気は良かったものの、群馬名物空っ風が絶好調で、車庫の入り口からも大変な風が吹き込んでおりました。ですがそんな中でもステージイベントは賑やかに進み、我々 SUPER BELL”Z の出番です。

昨年発売された最新アルバム「MOTOR MAN 2017」収録の「MOTOR MAN 上電」も初披露させていただきました。私個人的にも念願であった上電ソングを大胡車庫にて演奏できたこと、とても記念となるステージになりました。またトークパートでは、鉄道 BIG4 としてもご活躍著しい、ホリプロ南田裕介さんもお迎えし、皆様のたくさんの笑顔を見ることができ、あつという間のステージでした。

上電来訪は一昨年の秋イベント以来の SUPER BELL”Z 野月さん、BIG4 のテレビ撮影以来という南田さんでしたが、同行のスタッフと共にじっくりと車庫やデハ、デキを見学し、その刻まれた歴史の重みに感嘆の声をあげていました。

また大胡車庫でのライブを実現できるよう、皆様に楽しんでいただけるよう画策して参ります。友の会の皆様、上毛電鉄の皆様、イベントに携わって下さった全ての皆様に感謝を込めて。(堀込聖美)

声

新春イベント出演の楽団石原家より

「温かな鉄道」「いつもの人がいる鉄道」。

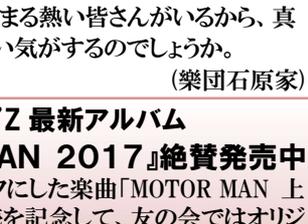
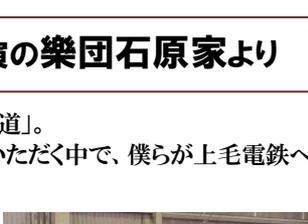
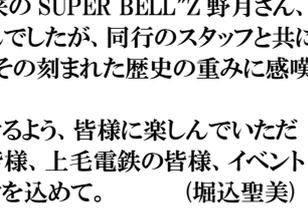
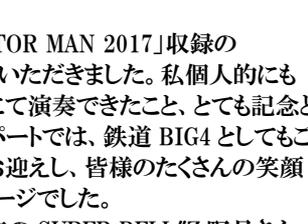
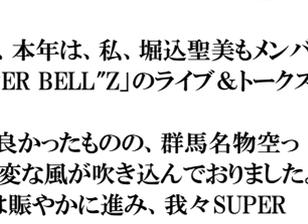
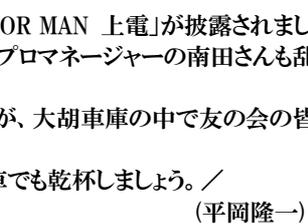
これがイベントに何度か出演させていただき中で、僕らが上毛電鉄へ抱いた印象です。

楽団石原家は文字どおり家族四人のグループですが、「ごちそうアートレイン」という企画で参加させていただいたのを皮切りに、新春イベントへお誘いいただいています。

温かな人たちが働く上毛電鉄と、それを周りで(時に中心で!)支える友の会の方々。

「鉄道が大好きだ」という共通項で集まる熱い皆さんがいるから、真冬の寒い大胡電車庫でも何だか暖かい気がするのでしょうか。

(楽団石原家)



柏川発「あんずジャム」のご案内

上電駅クリーンボランティアに参加常連の長谷川さんが関わる「柏川地区地域づくり協議会」で製造。杏の味を余すところなく引き出した甘過ぎないちょっと大人の味。イベントでも入手出来たらなあ。上電沿線に杏の並木・・・。(新保正夫)



談

新春イベント 友の会トークショー

午前の部トークショーは、友の会大島代表、花上東武博物館名誉館長、佐羽により「上電沿線の今昔」をテーマに行われました。大島代表からは、かつての町や沿線観光、バスの話などが、花上名誉館長からは、氏が撮影した上電の名車両や駅の写真が紹介されました。佐羽からは桐生市の写真アーカイブに残る上電の姿を紹介しました。生活に欠くことのできない存在である上電の生き生きとした姿が浮き彫りにされました。スクリーンでは、木造二重屋根時代のデハ 801、デハ 11 が渡良瀬川橋梁に向かう姿など、貴重な写真も鑑賞する機会になりました。(佐羽宏之)

午後の部は、恒例、友の会の活動報告です。次にスーパーベルズのライブが控えているので、気もそぞろにトークを始めました。

今回は、友の会の大輪の花、声優の堀込役員が司会です。直前の無茶ぶりにもかかわらず、快く引き受けていただき、発表者とソツのないやりとりで会場を沸かせました(?)

登壇者は、堀込司会のほか5名。けやきウォークや北陸鉄道とのコラボなど、新たなパートナーとの取り組み報告が目立ちました。(新保正夫)



印

北鉄乗入れスタンプラリー 3月26日まで

今年も友の会スタンプラリーは開催中です。期間は 3 月 26 日までとなっております。

今回は車両が元京王 3000 系つながりで北陸鉄道さんにも乗り入れております。そしてスタンプラリーのルールが変更になっております。従来の電車内スタンプ設置から駅設置になっております。上毛電気鉄道 4 箇所・北陸鉄道 4 箇所の合計 8 箇所です。どちらか片方コンプリートでも抽選で素敵な景品が当たりますのでぜひ挑戦してみてください。キャラクタースタンプもいずみちゃん、といち君以外にもう一人いますので探してみてください。(平岡隆一)



編集後記

今年度は残り1か月を切りました。地域の足でありシンボルである上電を支えるという活動の趣旨にご賛同いただき、新年度も、会員継続をいただきますようお願いいたします。

4月23日には、大胡電車庫でのイベントも開催されます。春のうららの上電で、ぜひ遊びに来てください。イベントの詳細は、上電HPでご確認ください。(太田聡彦)

発刊 上毛電鉄 友の会

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/jyodentomonokai>
E-mail supporters@jomorailway.com



SUPER BELL”Z 最新アルバム

『MOTORMAN 2017』絶賛発売中

上電をモチーフにした楽曲「MOTOR MAN 上電」を収録。発売を記念して、友の会ではオリジナルポスターを作成、上電各駅に掲示中。

友の会会員の皆さま、是非お求め下さいね！